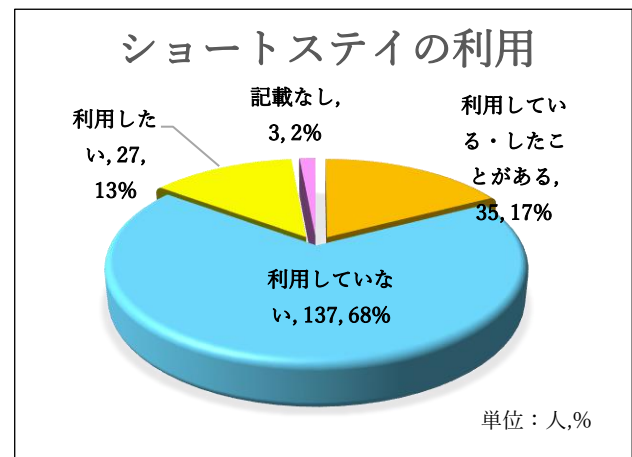
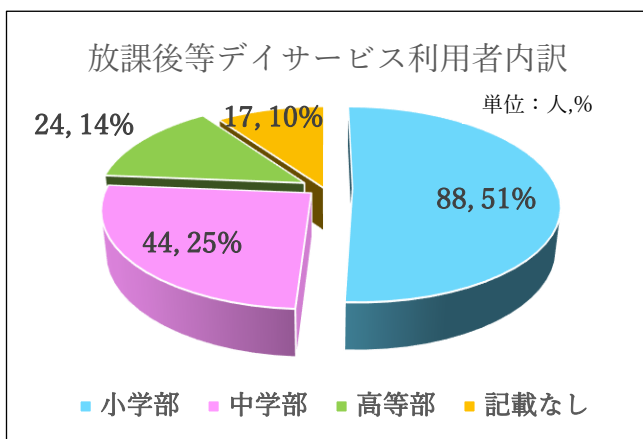
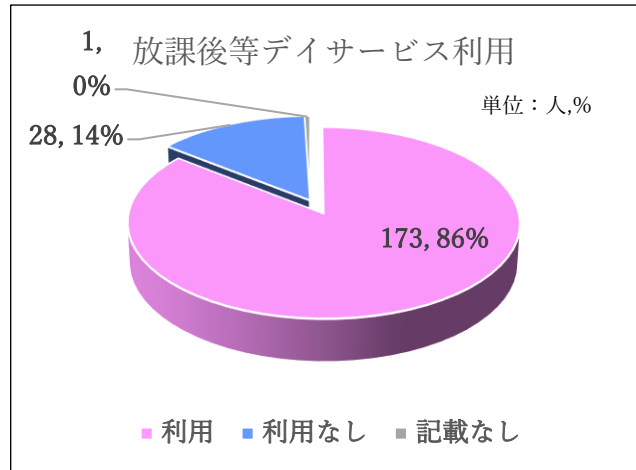
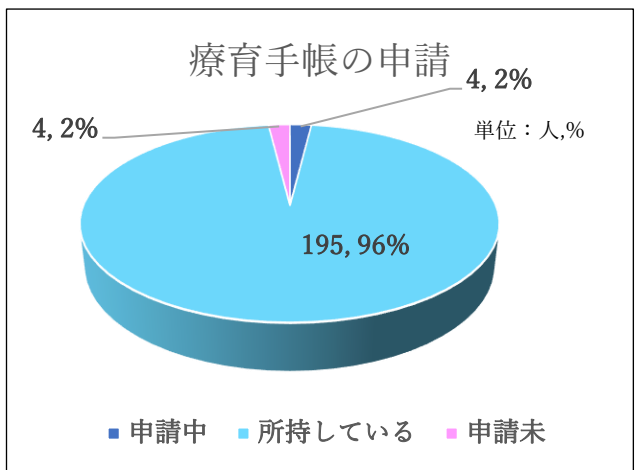
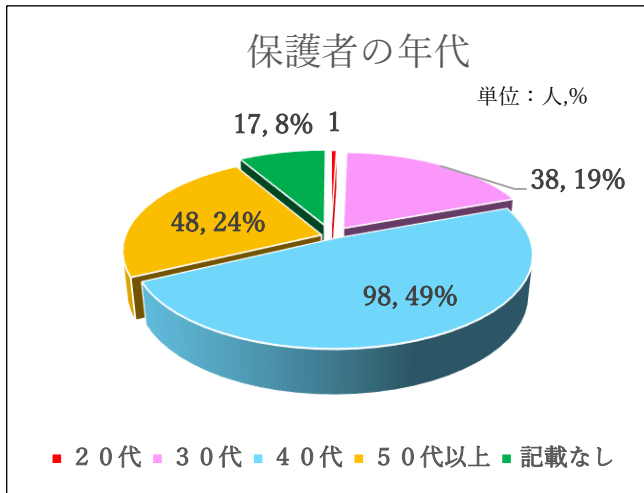
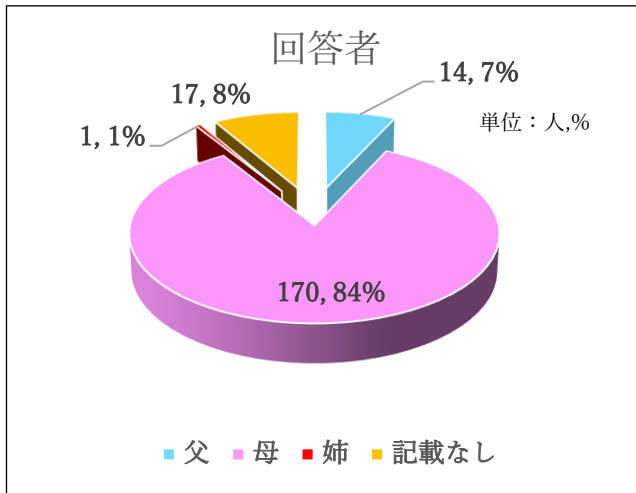
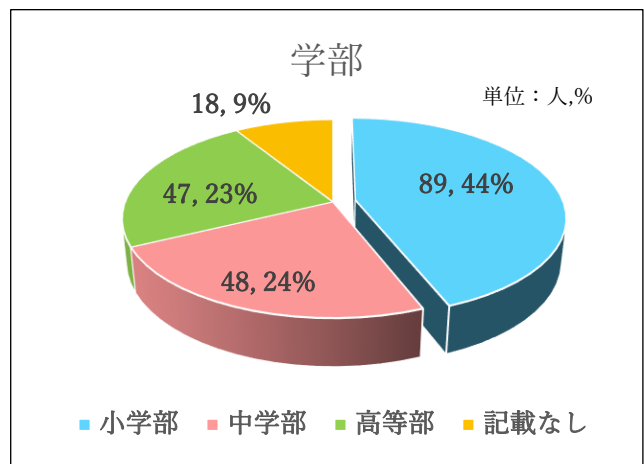
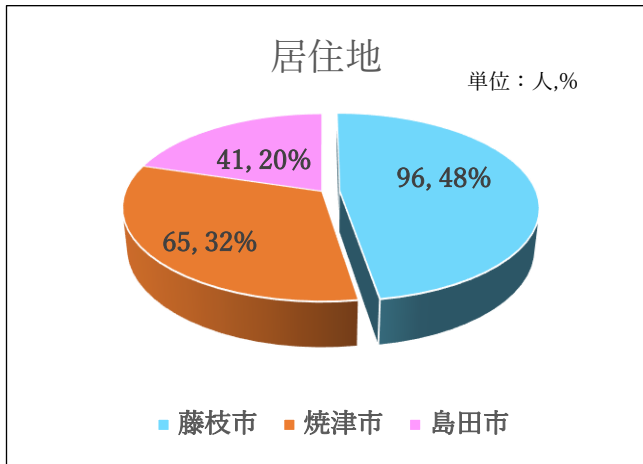
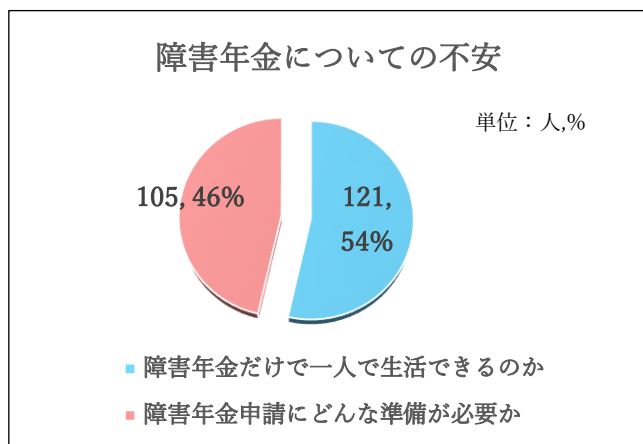
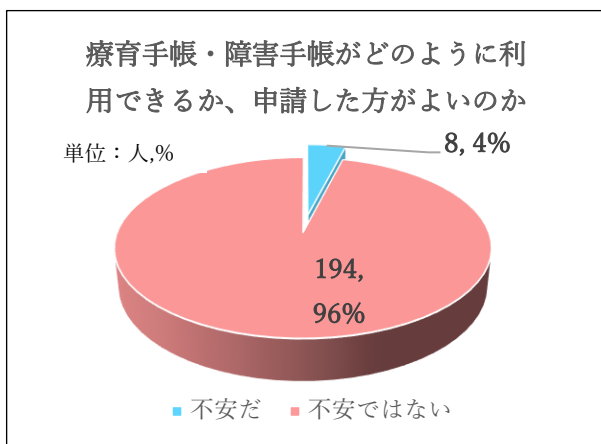
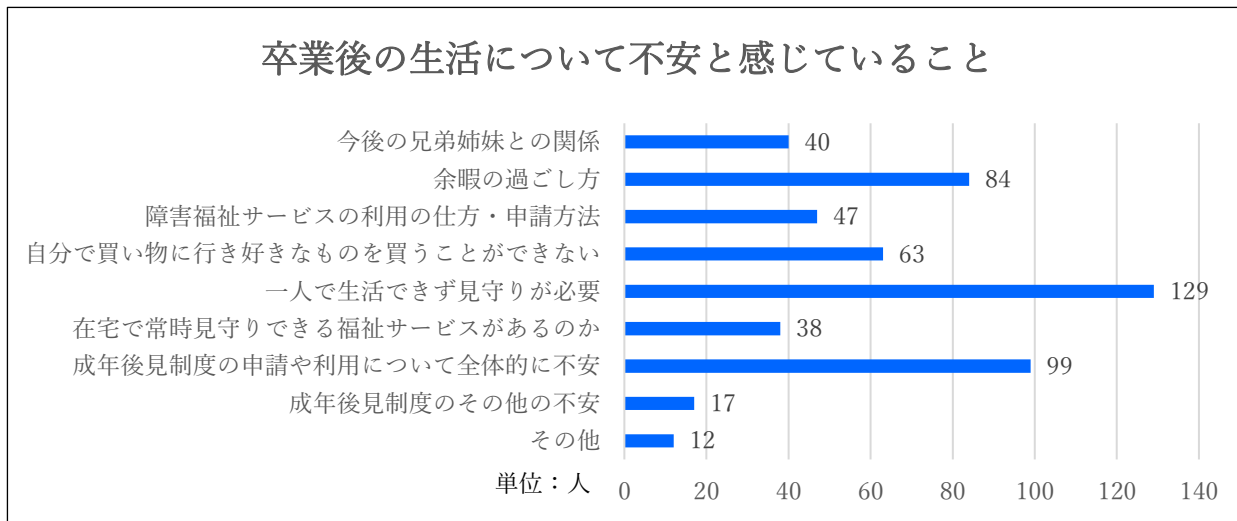
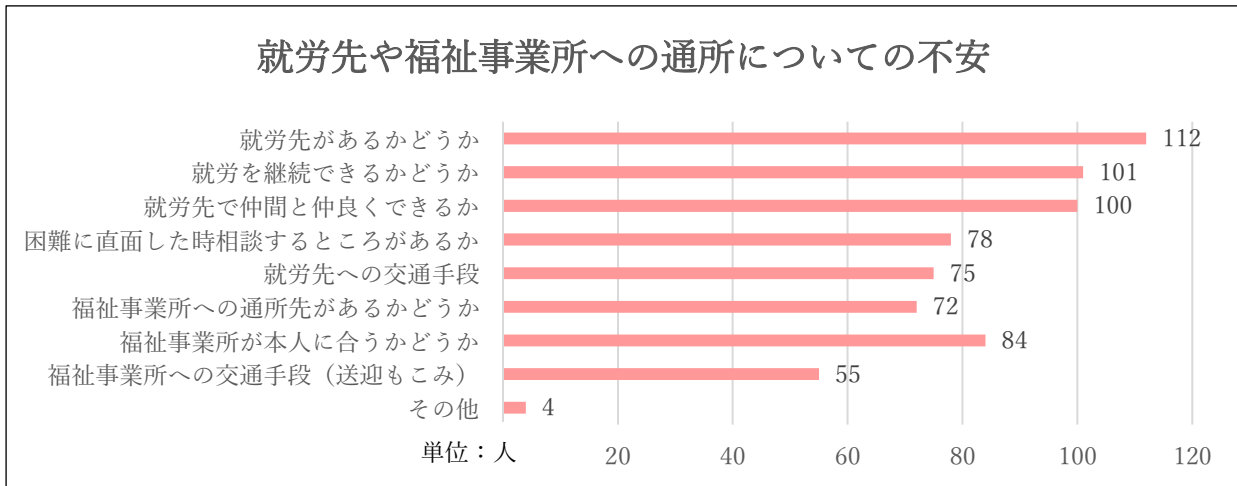
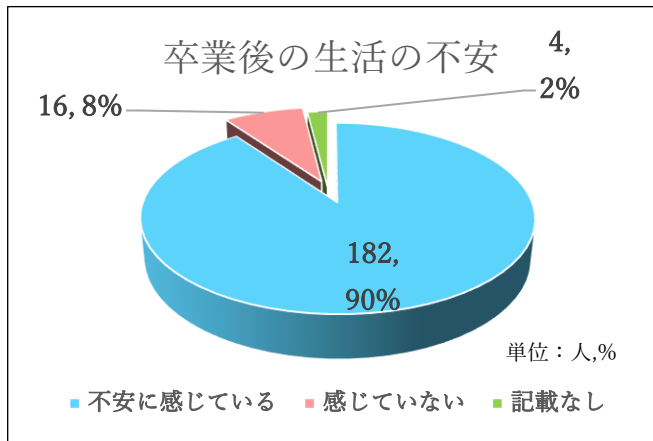
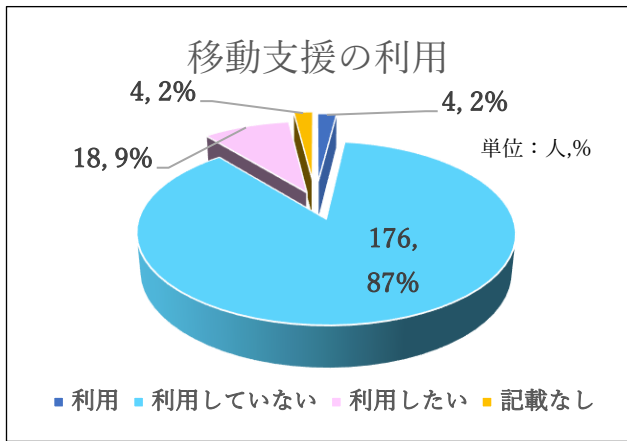
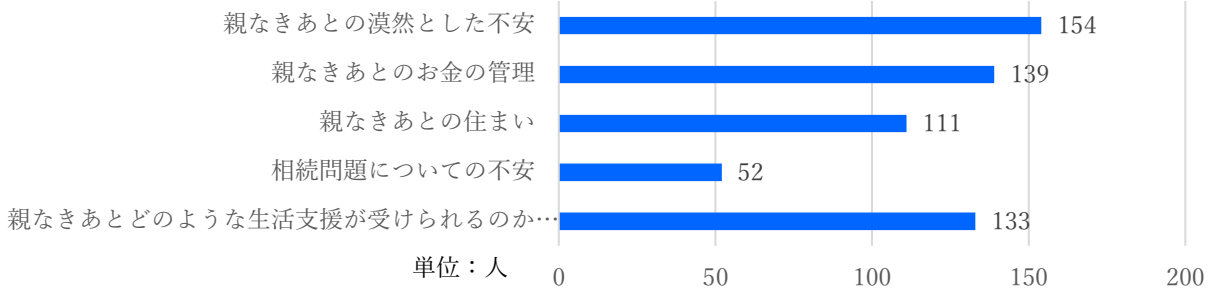


## 藤枝特別支援学校保護者へのアンケート結果

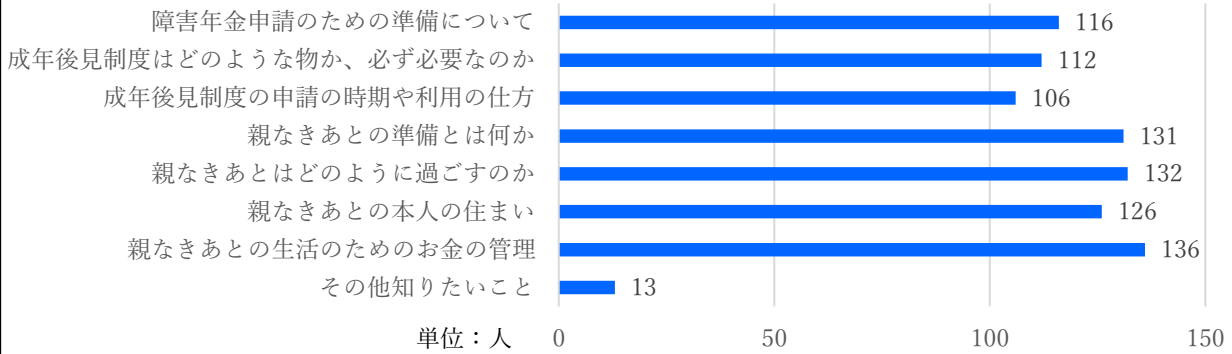




### 親なきあとの不安

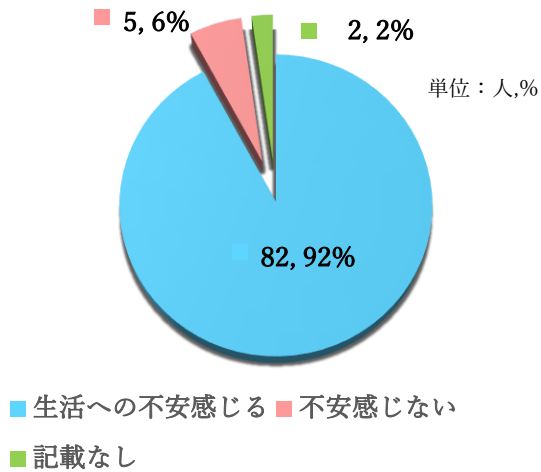


### 障害福祉サービス・親なきあとについて知りたいこと

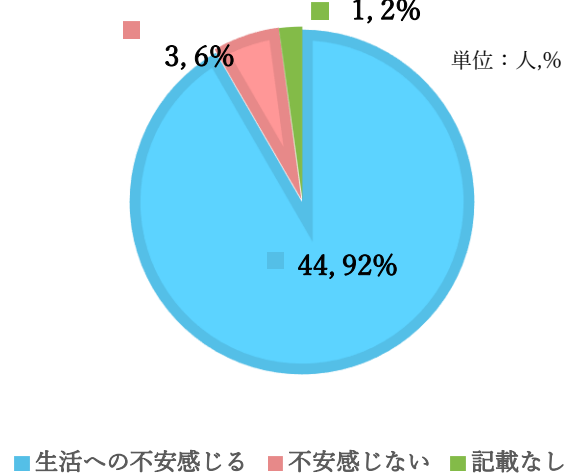


### 【不安について学部別にクロス集計した結果のまとめ】

#### 卒業後の生活不安（小学部）

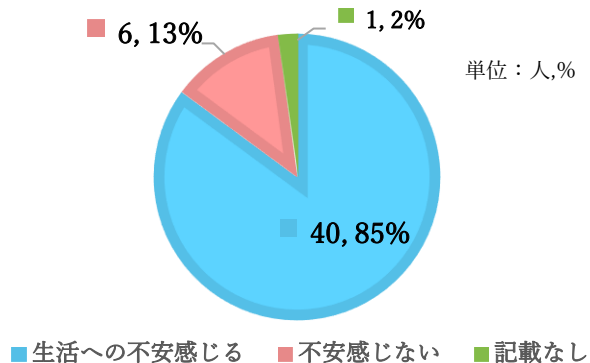


#### 卒業後の生活不安（中学部）



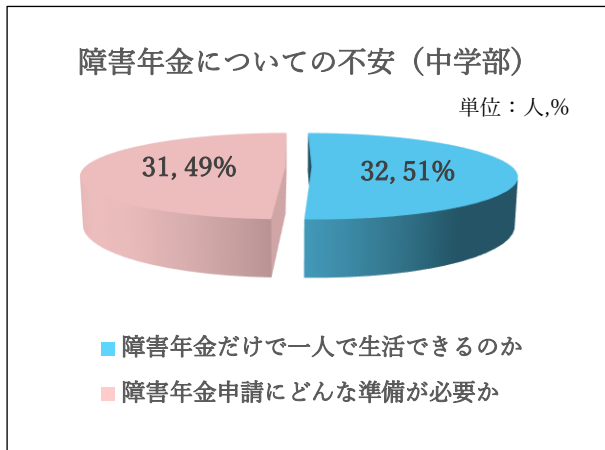
1) 卒業後の生活の不安についてそれぞれ学部別に集計した結果、小学部と中学部は92%の保護者が生活への不安を感じている結果が得られた。不安を感じていないと答えた保護者は6%のみであった。高等部では85%の保護者が不安と感じており、不安を感じていない保護者は13%であった。不安は大きいものの卒業という時期が将来とし

#### 卒業後の生活不安（高等部）

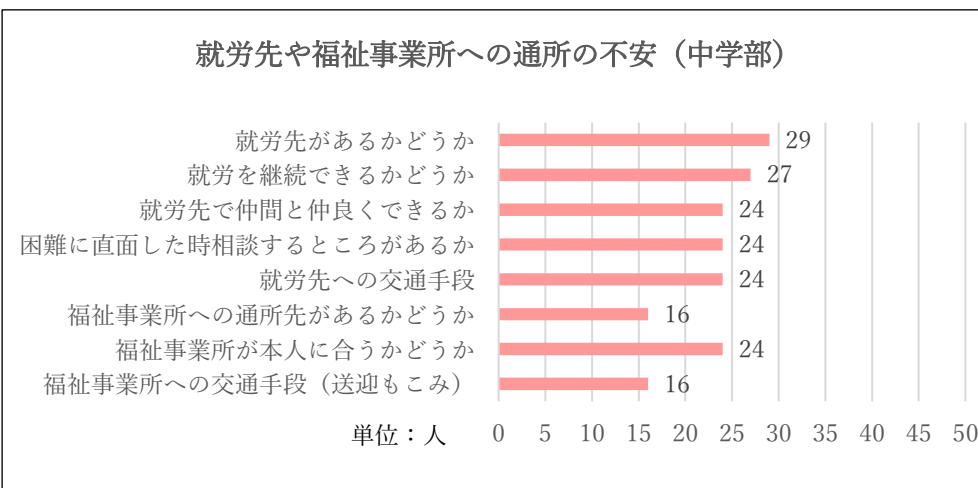
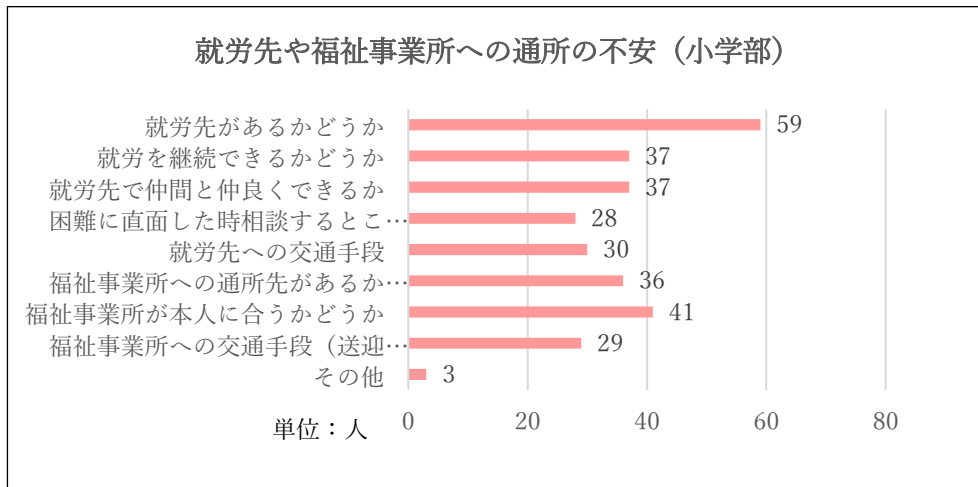
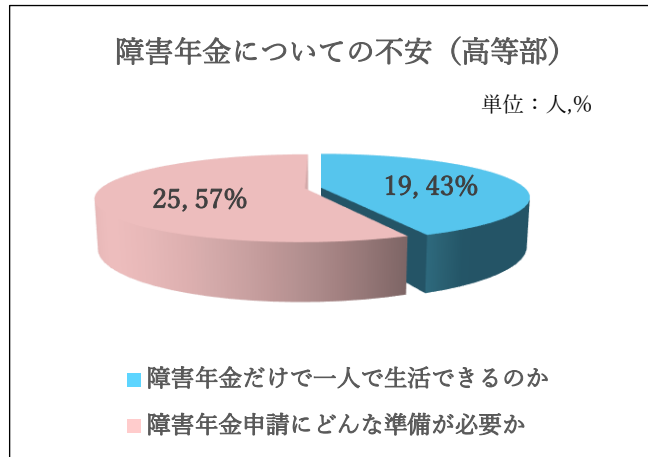
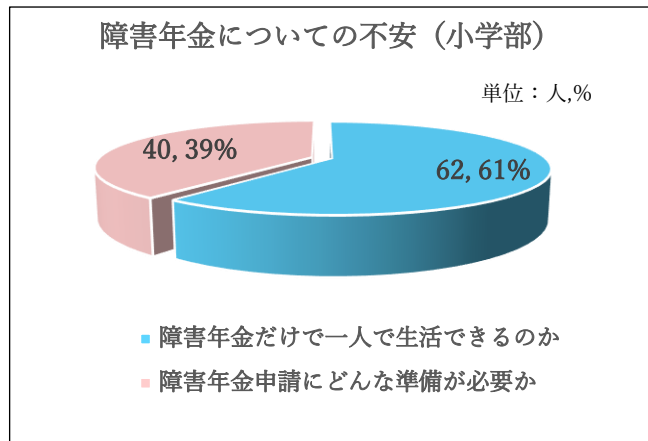


て身近になってくると具体的な将来像が見えてくるためか不安感が少し減少したと考えられる。

2) 障害年金についての不安では小学部ではまだ障害年金の申請がかなり先になることもあり申請につ



いての準備の不安よりも障害年金だけで生活できるのかという不安の方が大きい。中学部ではその不安がほぼ同数となっており、どちらにも不安があると感じていることが分かる。さらに高等部では障害年金申請の準備についての不安が多くなっている。身近に見えてきた年金申請の時期に不安が募ってきていることがうかがえる。

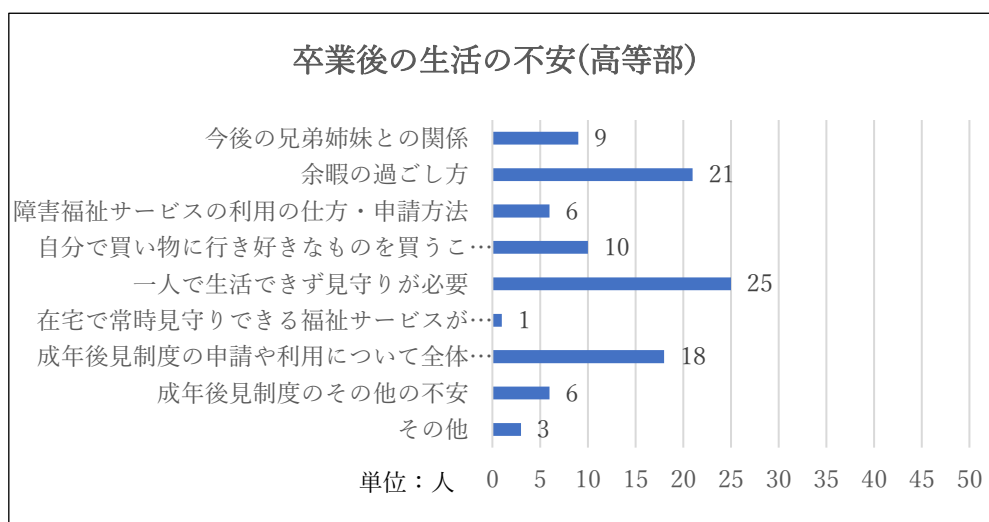
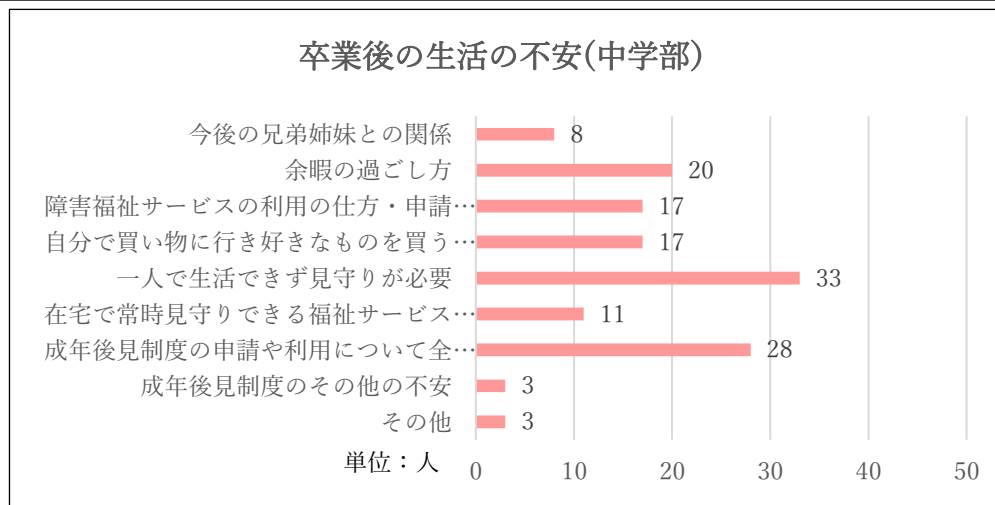
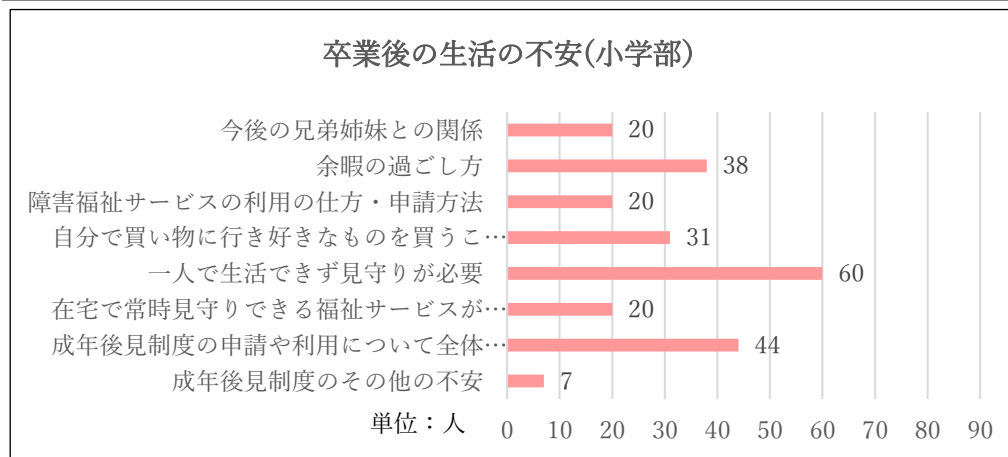
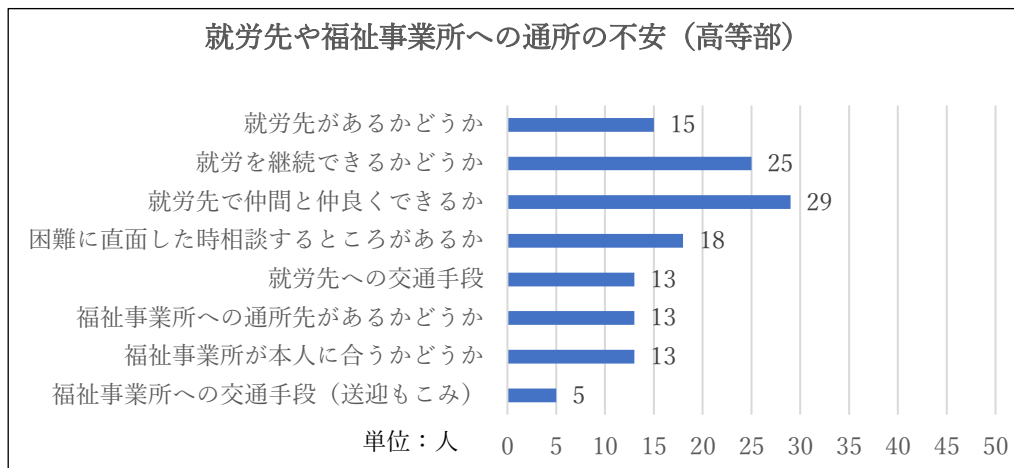


交通手段なども不安を感じる保護者が増えてきており 50%以上の保護者が不安だと感じていることが分か

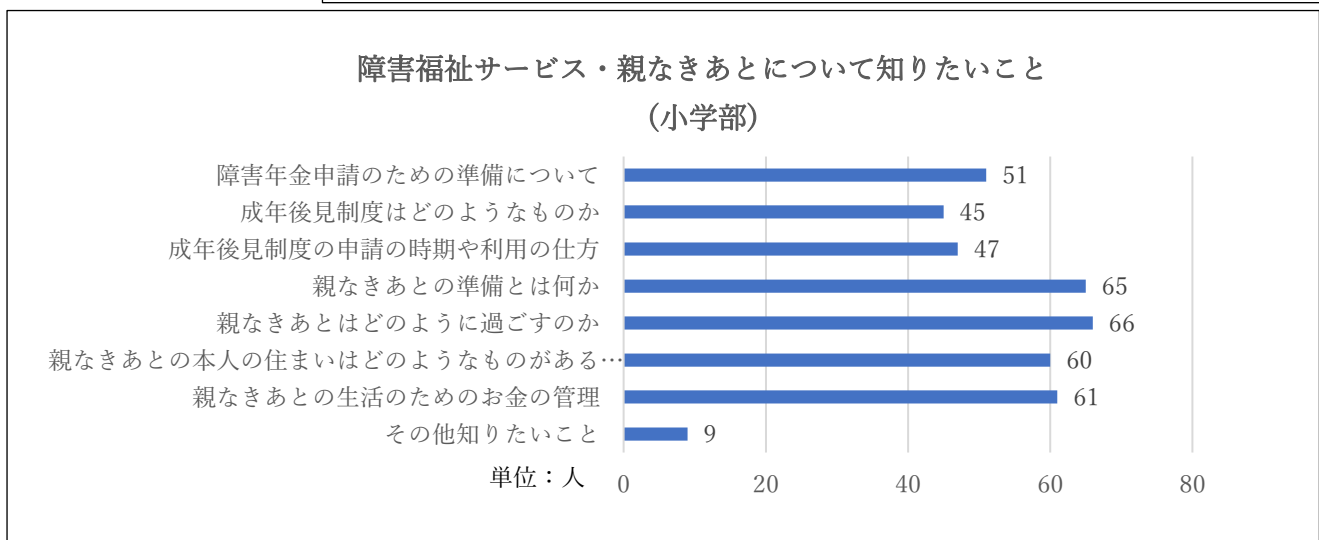
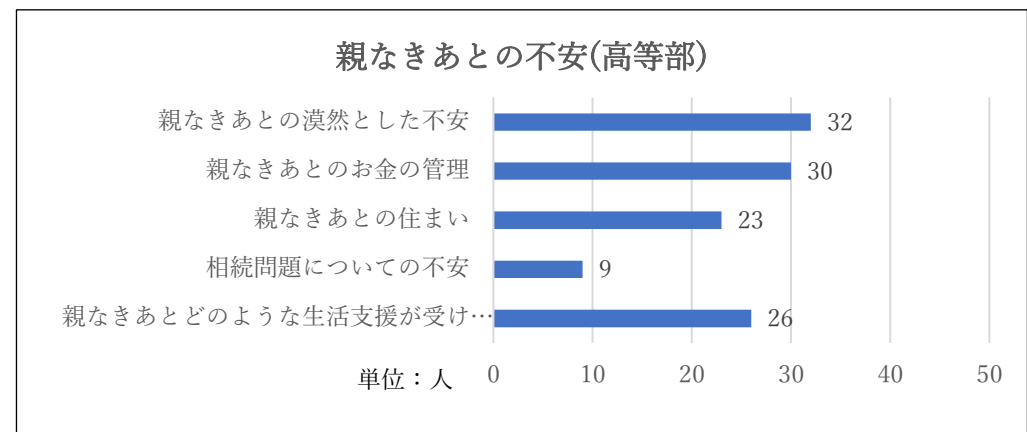
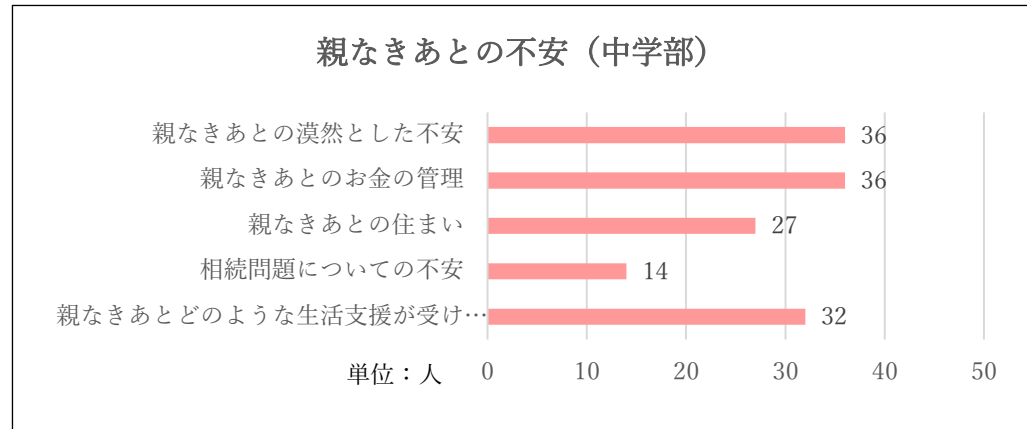
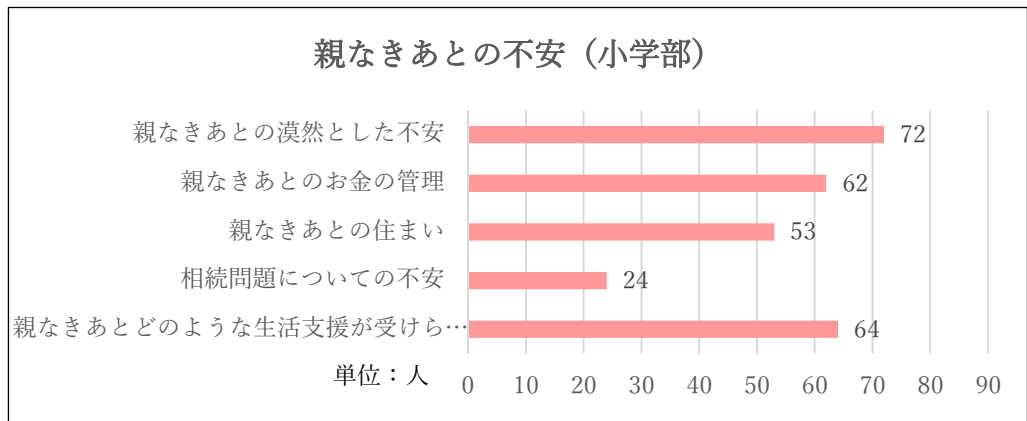
3) 「卒業後の就労先や福祉事業所への通所についての不安」では小学部では『就労先があるかどうか』の不安が 59 名であり 66.2%を占めている。又『福祉事業所が本人に合うかどうか』という不安が 41 名で 46%であった。卒業までにはまだ遠く、本人の成長や将来が見えてこないこともあり不安は漠然としていると思われる。中学部になると就労や通所に全体的に不安を感じていることが伺える。『就労先があるかどうか』の不安は 29 名で 60%の保護者が不安を感じている。本人の成長に合わせて就労できるか、継続して就労できるか、就労先への

る。高等部になると『就労先で仲間と仲良くできるのか』という不安が高くなり、29名で61%となっている。又『就労を継続できるのか』の不安も高く25名53%の保護者が不安を感じていることが分かる。将来が具体的にってきていることからではないかと推察できる。

4)「卒業後の生活不安」について全体集計で最も不安に思っていることは「一人で生活できず見守りが必要であること」が最も高く次に「成年後見制度の申請や利用について」そして「余暇の過ごし方」が続いている。それぞれ学部別に集計したところ小学部でも全く同じ傾向がみられ60名67%の保護者が『一人で生活できず見守りが必要である』ことの不安を上げ、次に『成年後見制度の申請や利用について』の不安があることを44名49%の保護者が上げている。中学部でも高等部でも同じ傾向であった。しかし高等部になると全体的に不安が減少してきており、不安項目が少し変化し『余暇の過ごし方』について21名44%の保護者が不安を感じると答えている。



5) 「親なきあとの不安」の全体集計では『親なきあとの漠然とした不安』次に『お金の管理』そして『親なきあとのような生活支援が受けられるのか』についての不安が最も多かった。それぞれ学部別での集計を見ると、小学部 72 名 80%の保護者が、中学部では 36 名 75%の保護者が『親なきあとの漠然とした不安』を感じていると答えている。さらに高等部での集計でも 32 名 68%の保護者が不安を感じている。つまり、小学部から保護者は『親なきあと』についての不安が漠然とあることが分かる。その不安は高等部を卒業する時期まで継続しており具体的な不安へとさ

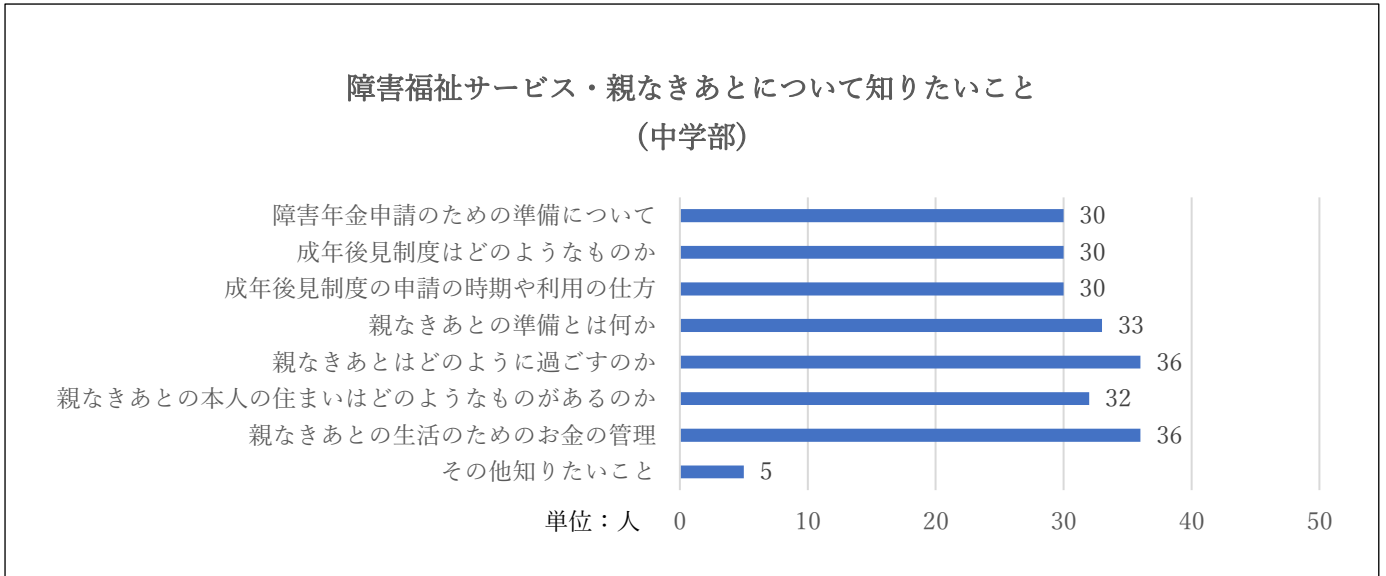


らに膨らんでいくものと推察される。

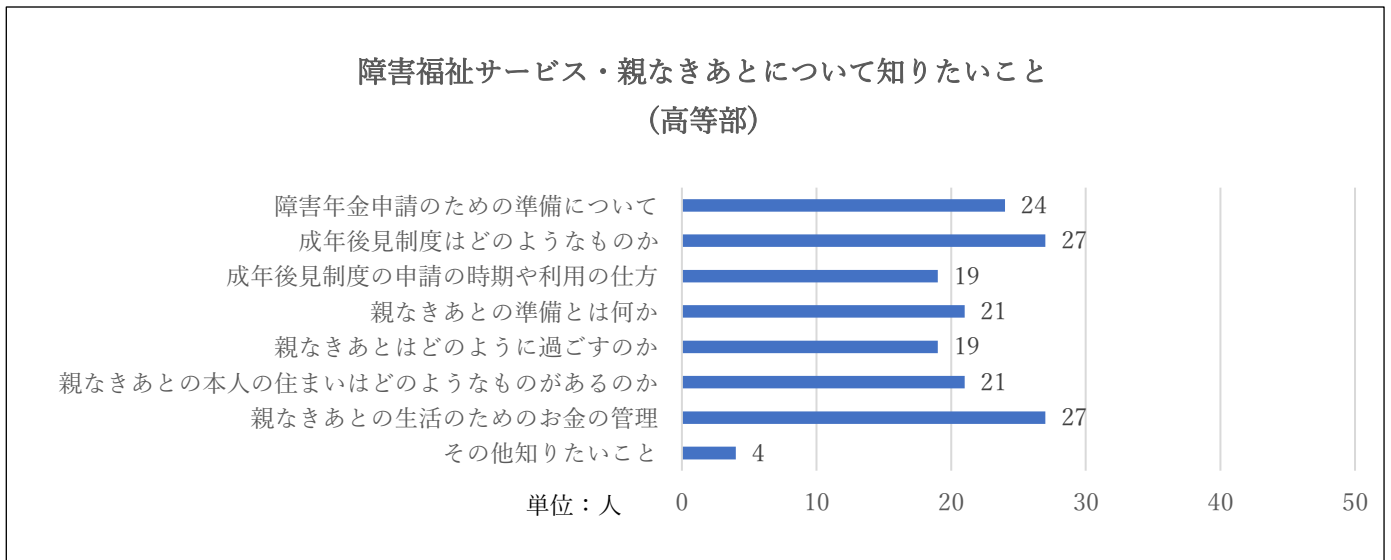
6) 「障害福祉サービス・親なきあとについて知りたいこと」はすべての項目にチェックがかかる保護者が多くみられた。特に「親なきあと」の項目では全体的に知りたいと答えた保護者が多くみられた。小学部や中学部では『障害年金の申請』や『成年後見制度について』よりも、『親なきあとの準備』や『過



ごし方』、『親なきあとの住まい』の事、又『お金の管理』等について知りたいと感じている保護者が多い。



高等部になると、『成年後見制度について』や『親なきあとのお金の管理』について知りたいと思っている保護者が増えている。卒業を控えて不安が具体的になっていることが分かる。成人に近づき成年後見制度が身近になってきていることやお金の管理の問題も考える時期になっているからだと推察される。



**【全体考察】**

藤枝特別支援学校保護者へ、卒業後に迎える生活にどのような不安を抱いているのか、どのようなことを知りたいと思っているのかアンケートを実施した。全校生徒 355 名へ配布し 202 名の回答を得た。回収率 56.9%であった。小学部の保護者が全体の 44%、中学部が 24%、高等部が 23%であった。居住地別では藤枝市が 48%、焼津市が 32%、島田市が 20%であった。アンケート回答者はほとんどが母親で 84%であった。保護者の年代は 40 代が 49%、50 代以上が 24%、30 代は 19%であった。療育手帳所持者は 96%でほとんどの生徒が所持しており、申請未と申請中の生徒がそれぞれ 2%であった。放課後等デイサービスの利用は 86%であり、小学部の利用者が 51%、中学部の利用者が 25%、高等部は 14%であった。ショートステイの利用者は 17%で、68%は利用していない結果であった。しかしこれから利用したいと答えた保護者が 13%いた。移動支援は利用していないと答えた保護者が 87%であった。

1) 卒業後の生活不安を感じている保護者は全体で 90%、不安を感じていない保護者は 8%であった。学

部別集計でもほとんどの保護者が不安を感じている結果が得られた。しかし高等部の保護者は卒業を控え将来が見えてくるためか不安が少し軽減してきていた。

- 2) 障害年金についての不安は、『年金だけで生活できるのか』という不安と『年金申請の準備について』の不安が全体としてほぼ同数に近かった。しかし学部別にみると、小学部ではまだ年金申請は遠くであり、逆に高等部では障害年金の申請が身近になってくることから年金申請の準備についての不安は高等部になると高くなってきていた。年金申請の時期が身近になってきたことで不安をより感じていると言える。
- 3) 『就労先や福祉事業所への通所の不安』では、全体的に「就労先があるかどうか」の不安が最も高く、次に「就労を継続できるか」「就労先で仲間と仲良くできるか」が続いていた。また「福祉事業所が本人に合うかどうか」という不安も高かった。しかし学部別では小学部はまだ就労がかなり先であり不安は漠然としているためか「就労先があるかどうか」の不安以外は横並びであり実感できていない。ところが高等部になると『仲間と仲良くできるか』や『就労を継続できるか』など不安が具体的になってきていた。
- 4) 『卒業後の生活の不安』では全体の129名、63.8%の保護者が「一人で生活ができず見守りが必要であることへの不安」と答えていた。次に99名49%の保護者が「成年後見制度の申請や利用について全体的に不安」と答えていた。学部別でも同じ傾向がみられたが高等部では不安と感じる保護者がやや減少してきていた。また「余暇の過ごし方」への不安も感じるようになっていた。
- 5) 『親なきあとの不安』では全体として「親なきあとの漠然とした不安」や「親なきあとのお金の管理」の不安、さらに「親なきあとにどのような生活支援が受けられるのか」という不安項目が高かった。学部別でもこの傾向は同じであり、小学部から高等部まで「親なきあとの不安」は継続しており漠然とした不安からさらに具体的な不安へと膨らんでいくと言える。
- 6) 『障害福祉サービス・親なきあとについて知りたいこと』ではすべての項目について知りたいと答えた保護者が多かった。最も知りたいことは「親なきあとの生活のためのお金の管理」と「親なきあとはどのように過ごすのか」であった。また「親なきあとの準備とは何か」についても知りたいと答えた保護者も多かった。高等部になると「成年後見制度はどのようなものか」についてと「親なきあとの生活のためのお金の管理」がそれぞれ27名、57.4%の保護者が知りたいと答えていた。

2024/1/13 結果報告

文責 藤枝市手をつなぐ育成会

木村貴美子